

松本市基幹相談支援センター会議・研修会報告

会議・研修会名 令和8年第1回当事者主体部会	開催日：令和8年4月21日（火） 時間：16:00～17:10
参加者構成機関名 NPO 法人ケ・セラ(欠)、燦メンタルクラブ(欠)、ドリームワークス、ハートラインまつもと、ぴあねつと・まつもと 松本市障がい者基幹相談支援センター(事務局)	計6名

会議内容
<p>I. これまでの活動報告や課題について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域活動支援センターが令和8年3月末で閉所したが、構成員は継続参加する。</li><li>・ 専門部会活動はホームページを活用して広報する方向とする。</li></ul> <p>II. 体験発表(仮)にかかわる意見交換</p> <p>1. 体験発表(仮)のテーマ</p> <p>体験発表の目的については、「障がいのある方の暮らし」について発表し、当事者同士が自身の経験を共有し、顔が見えるつながりをつくること、また市民や関係者が障がいのある方の暮らしを知り、その理解を拡げていくことも目的に含まれているとすることとした。</p> <p>2. 対象者</p> <p>対象者については、当事者同士の交流に加え、市民や支援者も含めた広がりを見込める必要があるとされたが、具体的な整理は今後の検討事項とされた。発表者は当事者を基本とし、市内で当事者が集まり語り合える場を継続的に構築することが重要であるとされた。</p> <p>3. 内容について</p> <p>「障がいのある方の暮らし」という目的に沿ったテーマを各回毎に変更しながら、知的障がい、精神障がい、視覚障がい、医療的ケア、就労など多様な視点を取り入れることが話し合われた。</p> <p>実施時間は13時30分から15時迄とし、形式や進行については一定の枠を設けつつも、発表者の実情に応じて柔軟に開催する検討がなされた。</p> <p>広報については、特別支援学校や当事者団体、関係機関に対しメール配信およびHP掲載等を行い、あわせてチラシを作成・配布することとした。</p>

#### 4. 具体的な開催日程等について

第1回体験発表については、下記のとおり検討した。

細かい内容は次回専門部会で検討するものの、「働くことをとおしたくらし」を中心とし、外部就労や地域との関わり、ボランティア活動などを含めた生活全体を共有する案が共有された。

### III. 冊子づくりについて

- 紙媒体による冊子だけでなく、ホームページ上でも団体名や活動内容を一覧で確認できる。
- 障がい福祉分野に限らず、車いすバスケットボールなどの活動も含めて幅広く情報を共有してもよいかという意見や掲載にあたり掲載内容を整理した方が良いのではという意見がなされた。

### IV. 令和8年度部会活動計画について

- 令和8年度は、体験発表を年4回開催する。
- 継続的に当事者が語り合える場の構築を目指すこととした。特に、当事者が主体的に参加し、自らの暮らしを語るができる機会を確保することを重視する方針とした。
- 体験発表(仮)の名称を検討する。候補として「知ってほしい私のくらし」「ちいき」「くらそう」「私たち」「みんな」「ひびく」「ひびきあう」「はなそう会」「●●会」「●●茶話会」「トークセッション」「かたり/語り」「とりあえずあつまろう会」「あつまる」「俺物語」「俺(オレ)/僕(ボク)たち/私(わたし)たちの物語」「元気になる」「元気」というキーワードが挙げられた。

### V. 次回専門部会での検討内容について

- 冊子づくりの具体的な内容の整理
- チラシ内容の決定
- 体験発表全体のタイトルの決定
- 令和8年9月4日に予定している第2回体験発表(仮)について、発表者および内容を具体的に確定する。

以上